

IRON JERRY のつれづれ日記 2011

坂尻 仁彦

今年の五島長崎トライアスロンは愛称バラモンキングとなりIRONMAN ブランドの WTC とは縁が切れハワイのスポットは無くなりましたが距離は IRONMAN です。ITU のロング世界大会（ラスベガス近郊の町ヘンダーソンで開催）の選考レースに位置づけられ各年代 10 位迄に出場資格が与えられる大会になりました。昨年は口蹄疫問題で IRONMAN JAPAN 五島長崎の 10 回大会が中止になり 9 年連続完走中の私としては 10 回も完走で締めたいと開催がハッキリしない IM・JAPAN??? は棚上げにして

募集が始まると直ぐエントリー、エイジ 60UP の 64 歳ですが何とか 10 位々内でラスベガス、なんて考えながら 6 月 15 日に出発、博多経由で翌日五島の福江に到着（またもや雨が降ったり止んだりの毎日です）今年はいつもの相棒、英国のエリックはフランスのバイクレース出場で不参加ですが花屋の須崎さんには夕食を頂く等お世話に成りました。街に出て感じたのはやはりと言うか海外の選手（台湾や日本居住者以外）を殆ど見かけないし、受付で貰った選手名簿には男子プロはゼロ！おまけに参加者は半減とさびしい限りです。 金曜日の早朝今回から変わったスイム会場の富江港に行きましたが

遊泳禁止！「選手の皆様、危険ですから泳がないで下さい！」の張り紙？（足元の貝殻等の除去が未だなので危ない様です）結局宿近くの福江港でウエット着て泳ぎを試すが少しキツイ。

（7 年も経つと劣化の為か素材が剥がれたり硬化して着脱に時間が掛かります。）雨の合間を縫ってバイクコース（此方はよく変わったので過去の記憶がゴチャ混ぜに成って中々イメージ出来ません）を 20km 程走るとまた雨が降りだし慌てて引き返すレース当日もしとすと雨模様。カップ姿で送迎バスに乗り、20 分足らずで富江港に到着、例年と違うトランジッションエリアでバイクやギヤバックのチェックを済ませテントでウエットの着替えや調整をしながら時間を待つ、雨は止む気配なくスタート 15 分前、進水路のコンクリート斜面はコースの幅だけへばり付いた貝柄等削り取られちょっと安心 100m 先のスタートライン？のブイに掴まり時を待つ 7 時 2 分前にはエリートがスタートですが久保田早紀・宮崎康子のプロ 2 人が寂しく？泳ぎだすプー！の合図でエイジもスタートしスイムバトルに突入です

ソックス形？のコースなので距離が読めず時折斜めから（ジグザグ泳ぎ？の選手）突っ込まれたりしますが人数が少ないせいかコーナー以外はバトルも少なく1周回目の浜に戻ると39分とまあまあで2周回になると少しお疲れ、残り500m程が進みません、上ってタイムを見ると1H23分です。シャワーの下でウエットを脱ごうと、もがくが時間が掛るばかりで上手くない、雨模様が気になり着替えが手間取りトランジションは8分程掛かってバイクスタート、富江港からのバイクは同じ道なので問題なく走り、3K辺りで須崎さん達が待ち構える上り坂のカメラポイントに合図しながら通過すると新しいコースに変わりダウンヒルの連続、安全第一でアップダウンの連続をクリアーして例年のコースを走る。見慣れた景色だが何度か変わり記憶も怪しい、後続のバイクにドンドン抜かれても気にせず安全走行？雨もきつくなったり緩んだりで状態は変わらずウインドブレーカーではちと寒い、袖の先に水が溜まってあきまへん（防水の効いたフィットの良いジャケット買えば良かったと反省）雨は止む気配もなく、只、寒いだけに眠気が出なくて幸い。用意した補給食を早めに食べるが乾き物は雨に濡れぐちゅぐちゅです、周回も3回目に成ると冷えて身体も硬くなる、ペダルの回転も悪くなるし睡魔も来襲、等々タイムは8時間余り掛かってフィニッシュ、（トランジションのバックも残り少ない、）更衣テントに入るとき須崎ファミリーの声援を聞いて振り向き、ニッコリ（未だ余裕有りそう）例によって着替えは入念に？ウェアは全部チェンジして（ロスタイム7分です）スッキリとランスタート

雨は止みそうな気配だが膝が硬いので抑え気味に走る 10k 地点では60分余りのペースで上々の通過だが又雨が強くなり寒いエイドでポリ袋をお願いしたらボランティアのお母さんからカップを頂き感謝々々です、裾を括って又走る。20kでは制限迄残り3時間半程、「14時間余でゴールかな？と甘いこと考えていたら頭がボンヤリしてきた、脱水症状？（バイク後半から雨と寒さで水分補給を怠ったかも）スペシャルエイドでしっかり給水。補給を取り又気持ちを入れて走るが今度は膝がおかしい、足は進まないがひたすら我慢です、アップダウンの多いこのコースでは下りは慎重に（ポーとした気分と右膝の痛みで扱けそうになります）走りますがその分時間が無くなり福江の街に戻った

頃は貯金も僅か 15 分、ラストスパートなんて身体が許してくれ
 ません、其れでもゴールの五島高校に入ったら残り 200m、前を
 走るオッチャー一人を何とか抜いて終了 6 分前とギリギリのフ
 ィニッシュでした。タイムは 14 : 54 : 09 とランは 5 時間半も掛
 かりワースト記録の更新でした。ふらふらしながらシャワーテ
 ントに入りしゃがみ込んで身体を洗っているとファイナリス
 ト?のゴールアナウンス。一日中雨のレースで安全第一でしたが
 が危うくセーフです、無事完走出来て、ホッ！としました。

翌日記録表を見ると 324 位。完走者が 334 人 170 人ほどリタイ
 ア、エイジもブービーの 20 位ですが 23 人が DNF と年寄りには
 過酷でした。優勝した秦陽一郎選手のタイムも 9 : 32 : 54

3 位迄が 9 時間台 11 時間以内の選手も 17 人と少なく IRNMAN
 狙いのプロや外人の抜けた影響も大きいようです。

この結果。私のロング世界大会ラスベガス行きはあきらめて
 エイジ 65 アップの来年迄しんどいレースは控え真夏は休養と身
 近な KTC カップ等を楽しみ地道?にトレーニングしながら体力
 維持に励んでいます。

8 月 7 日大久保自衛隊でのアクアスロン駅伝(炎天でしたがプー
 ルの水は冷たい) KTC は今年も 2 チーム参加。1. 2 位は立命館 3
 位くらわんかに続いて KTC A (#19) は惜しくも 4 位でした

個人順位				スイム ランF トータル			スイム 順位ラン 順位				
8	19-1	藤下 充義	40	男	0:08:10	0:26:58	0:26:58	0:08:10	12	0:18:48	9
17	19-2	宿院 雅広	47	男	0:36:17	0:55:51	0:28:53	0:09:19	23	0:19:34	16
19	19-3	小島 一朗	50	男	1:05:28	1:24:57	0:29:06	0:09:37	28	0:19:29	15
48	20-1	坂尻 仁彦	64	男	0:10:43	0:34:35	0:34:35	0:10:43	46	0:23:52	61
65	20-2	喜田 文雄	57	男	0:45:33	1:11:47	0:37:12	0:10:58	49	0:26:14	79
56	20-3	河内 昌子		女	1:21:39	1:47:07	0:35:20	0:09:52	32	0:25:28	75

チーム#

来年はもう 1 チーム程増えればと思います。

※一人 S500m R5km 参加費は¥500 次年希望者は坂尻迄